

みうらトーク&トーク 第4弾

団 体 初声区長会

団体の紹介 住民自治と地域住民の生活向上のため相互に協力し、情報の交換を行うとともに市行政の推進のための補助、助言、提言等を行い、協働して三浦市の発展に貢献している。



日 時 平成18年7月27日（木）午後8時00分から9時00分

参加人数 初声区長会 21名 市側 15名

テ ー マ 「安全安心（防犯）で住みよいきれいなまちづくり」

内 容

（1）市より概要説明

市民協働室より説明

○市内の犯罪件数の状況

○取り組みについて（関係機関及び団体の協力を得ながらの防犯啓発活動、防犯パトロール、防犯のつどいを今年度も行っていく。新たな取り組みとしては、4月より防犯対策、消費生活について三浦市ホームページの掲載を開始した。）

環境部より説明

○クリーンアッププロジェクト（地域の方による清掃活動・大学生のボランティア・民間企業等によるスカベンジイベント・市役所に環境パトロール隊の設置）

教育部より説明

○スクールガードの現状について（地区の方がいろいろな形で参加していただいている。負担をかけないで長く継続することを目標としている。）

○携帯電話を利用したメール配信の開始予定（希望される児童の親御さん等のアドレスを登録していただき、何かあったときにメールを配信し、状況がわかるようにする準備を現在行っている。）

(2) 意見交換

区 長 現在、世間全般ではカタカナで表記されている言葉が多いので、私は意味が解らないことが良くある。

最近の行政の文書でも、カタカナがずらずら入っており、何を言っているのか解らない。

環境部の資料では、スカベンジがごみ拾いと書いてあるから解るが、逆に最初からごみ拾いと書いてもらった方が、子供も大人も解りやすいのではないか。

“ライフスタイル美（み）うら宣言”についても漢字で三浦でも良いのではないか。

もっと解りやすい言葉で書いてくれた方が理解しやすい。

市 長 ありがとうございます。初めていただいた意見です。“ライフスタイル美（み）うら宣言”は学生から公募したと聞いております。

市担当 これは、関東学院大学に環境活動を行っているサークルがあり、日本でも有名なサークルと聞いております。昨年、行われた愛・地球博でもスカベンジ（ごみ拾い）を日本から世界に発信して行こうと呼びかけた学生さんたちです。

この学生さんたちにクリーンアッププロジェクトの中でゴミ拾いを市民文化として定着させるために、何かキャッチフレーズがないかと呼びかけました。私どもの感覚としては、若い方は、ごみ拾いを敬遠しているという意識でしたが、若い人のなかでもスカベンジ（ごみ拾い）を積極的にやっという方々があり、若い人たちにも受け入れてもらえるようにということと視覚的にも良いものということで、決定しました。

スカベンジという言葉は、まだ誰が聞いても解る言葉ではないと思いますが、三浦市が率先して行っていくまちとして、あえてこのスカベンジという言葉を使わせていただきました。ご理解をお願いします。

市 長 感覚の問題もあると思います。おっしゃるとおりごみ拾いと言うと解りやすいと思います。しかし、ごみ拾いというよりもごみを出さないということが、一番のことだと思います。子どもや学生や地域の方がきれいにする活動をすることで、ごみを出さない意識につながるのだと思います取り組みを行ってきました。若い方だけではないということも含め、今後も取り組んでいきたいと考えております。

区 長 クリーンアップですが、私は、毎日、ウォーキングをしていて感じたことを話します。

ごみでも一般ごみではなく不法投棄についてなのですが、目にあまるようなものがある。松輪入口から剣崎に抜ける道です。その本線は、良いのですがわき道に入ると不法投棄が目立つ。罰則等が記載してある看板やビニールテープがあるがその程度では駄目だと思う。高いフェンスを設けても大きなものが捨ててある。その周辺の人には迷惑していると思う。良い例としては、江奈湾の海岸道路のところが、一年くらい前は、不法投棄が多く歩いていても嫌になるくらいだったが、現在は、遊歩道みたいに整備され、きれいになっている。

きれいになるとそのあとは、不法投棄がない。直せばきれいになる。そのままにしておくと、他の人が同じようにごみを捨て悪循環になる。

パトロールをしていると聞いていますが、重点的にそのような場所をパトロールするのはどうか。また、許されるのなら生活道路でなければ夜間だけ通行禁止にしてはどうか。

市担当 松輪入口から剣崎に抜ける道の部分については、市でも監視を強化している。先週、不法投棄した者を検挙したと聞いておりますし、夜間パトロールも行っています。

江奈湾、毘沙門湾については、海岸線がかなり不法投棄されますので、県と協議し、監視カメラを設置し不法投棄防止に努め、夜間パトロールについても力を入れております。今後もきれいな三浦市にしたいと考えています。

さきほどのスカベンジですが、ごみを拾ってきれいな場所にしてごみを捨てにくい環境にするということもスカベンジ活動の一環だと思っています。

先日、行われた油壺のクリーンウォークですが、４００人から５００人の方が参加されました。

その時に若い子どもさんが親御さんと一緒に一生懸命ごみ拾いをしていていました。他には、ある方から聞いた話ですが小学生がビニール袋をもってゴミ拾いをしていたそうです。その時に、「先生にいわれてやっている」と聞いたところ、「校長先生が一生懸命やって大変だから私たちもやっている」と答えたそうです。このように小さい頃からこのような活動を行うことにより、この子たちは、大人になってもごみを捨てない環境づくりをしてけると感じました。このスカベンジ活動は、いろんな人に参加していただきごみを捨てない意識をもってもらうこともスカベンジ活動やクリーンアッププロジェクトの狙いだと思っています。

区 長 初声は、クリーンデー等を率先して行っている地域だと思っています。

私たちの地域で、一つの考えとしてごみを捨てにくい環境、つまり草刈を行ったり、暗いところをなくすための枝きりを行っている。かならず、ビンでも缶でもごみの捨てられやすい場所は、草が生えている場所や暗い場所だったりする。捨てにくい環境づくりをすることが初歩的ではあるが大事なことだと思う。

それともうひとつ市道の管理にしても、私の地区では、草を刈ったり U 字溝の上の泥をとって、みなさんが通りやすいようにしております。刈った草は、自分の敷地内に置いてあるが、市が率先して、刈った草や泥の処分方法等についての情報をいただければ、簡単に進んで、やる地域も増えてくると思います。道路の掃除については、区域におんぶにだっこのように感じる。道路を作るが、そのあとの泥等の清掃を十分に行っているように思えない。

市担当 道路の U 字溝の泥とごみは違う。ごみの場合は、基本的に地域清掃であれば減免申請を行ってもらい、草木は宮川の処分場で受け入れを行っている。どうしても、もって行けない地区がある場合には、すぐに回収に行けないが、後日、市で回収に伺ったケースもあります。基本的には、搬入は各地区でお願いしている。

区 長 初声地区では、市が管轄している川の掃除を行ったが、まだ、泥がそのままになっている。

市担当 初声の土地改良区の水路の浚渫を行っていただきありがとうございます。

市の方でも担当が参加しましたが、当初の予定では、浚渫土があれほど出るとは思わなかったために、一時的に置かせていただいている。予算の関係で申し訳ないが、調整後、近いうちに処分する予定になっている。

市 長 初声の土地改良区の水路の泥は、市で管理しているものなので市で清掃を行うものだが、農家の方が 400 名くらい協力していただいた。非常に感謝している。現在、泥を処分するのに予算が足りないため、調整する予定である。もうしばらくお待ちいただきたい。

区 長 私の地区に公園があるが、そこの枝や草を刈っておいたら、土木の公園担当が片付けてくれた。2、3 日前にも公園の草刈りを実施したが、処分を行う申請にあたって市の対応が良かった。

今後、みなさんも事前に市の方に連絡しておけば、流れがスムーズに進むと思う。市の対応がありがたかった。

先ほど、草木を刈ったりしている話が出たが、初声市民センターが気になる。草が生い茂っている。出来た当初はとてもすばらしいセンターだったがいつのまにか藪だらけになっている。これは、私たちも悪い部分があったと思う。私達は使うだけ、つくって行こうということをやっていなかった。

市も使ってもらっただけでつくって行くことをしていなかったように感じる。今後、みんなで初声市民センターをもう一度草刈などをしてつくって行こうと思う。

ただ、みなさんも仕事等があり全員の出席は、無理であろうから出来る人は、参加してもらい、みんなで参加出来る機会があればみんなで行う。つくっていくことをみんなでやるという考えはどうでしょうか。

市担当 7月18日に教育委員会の男子職員を動員し、13人ほどで初声市民センターと潮風アリーナの草刈を予定していた。数年前までは、業者に委託していたが、大変お金もかかりますし、職員で出来るものは職員でやって行くということになりましたが雨天で中止になりました。近いうちに行きたいと考えております。今、区長さんから話がありましたので協力していただければ日程等を調整して行きたいと考えております。

市長 地域の人たちにまかせきりということは、良くないと思っておりますので、職員も参加できる場合もありますので、お声をかけていただきたいと思います。

区長 私の地区でも、7月1日、2日で枝きり、草刈、ごみ清掃を行った。市の減量推進課に事前の相談に伺ったら快く引き受けてくれました。また、休日に職員が対応していただき非常に助かりました。

地区で、草刈や枝きり、道路での清掃を行うわけですが、作業を行うときに怪我や事故に遭う可能性がある。区民ひとり一人が傷害保険に入っているが、機械類を使うと3日以上で一人の単価が800円弱で155名参加予定でありましたので12万円近くになった。従来の保険では、一人300円くらいだった。このような業務をするのに怪我や事故は起きてはもらいたくないし、区民が行う時には、保険に入るのが当然だと思うのですが、金銭的に負担があるのでもう少し安く出来ないかと思っている。今後は、一日に限定して保険料を軽減したいと考えている。

また、今後もゴミ回収やそれ以外についても市に相談したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

区長 私達の地区では、年間5回一斉清掃を行っている。今度の日曜に行う予定です。参加人数は、60人程度で一週前に市に相談し処分については、スムーズにいつている。保険については、年間350世帯が入って5万5千円で町内会が行うものについてはすべて対象になる。私どもの保険でよければご紹介します。

地区の清掃は、年5回の外に、草刈は、地区の方が日常的に行っていたり、大きな樹木については市にも協力を得ております。現在ボランティア組織をつくって、地区のまち並みをきれいにしています。

市 長 市でも、地域活動の保険のことについて調べて行く必要がある。

市担当 現在、市で行うイベント等では傷害保険はあるが、今まで言われた傷害保険については、行っておりません。今後、保険について調べて行きたいと思っています。

市 長 本日は、お忙しい中、貴重な意見をありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

事務局 これでトーク＆トークを終了します。

※ 団体名の公表については、了解を得ております。